

■後志管内の状況及び学力向上策（小学校数:54校、児童数:1127人）（中学校数:36校、生徒数:1218人）

【教科全体の状況】

〔レーダーチャート〕

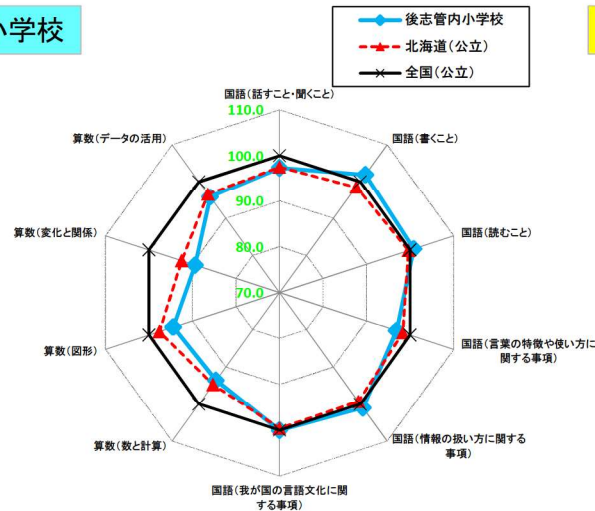
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況

（「管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100」で算出）

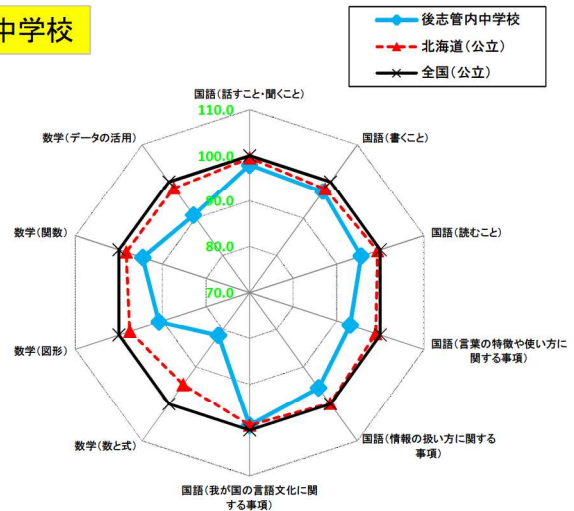
〔管内の平均正答率〕

|      | 小学校国語    | 小学校算数    | 中学校国語    | 中学校数学    |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 後志管内 | 67[67.2] | 60[59.6] | 56[55.8] | 47[46.8] |
| 全国   | 68[67.7] | 63[63.4] | 58[58.1] | 53[52.5] |

小学校

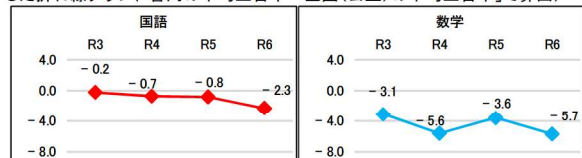
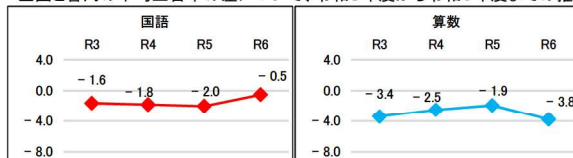


中学校



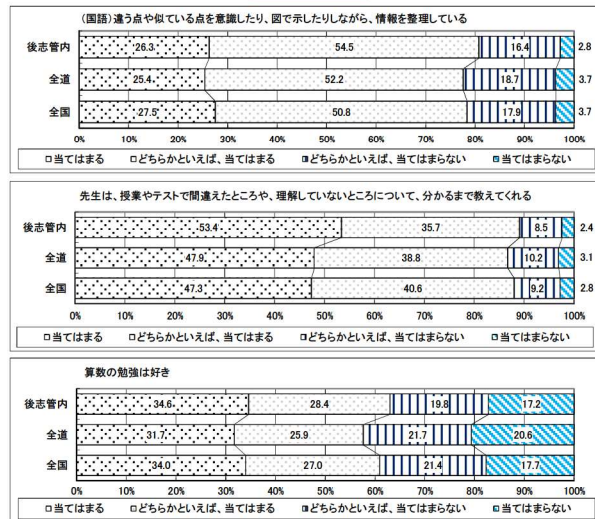
〔平均正答率の推移〕

全国と管内の平均正答率の差について、令和3年度から令和6年度までの推移を示した折れ線グラフ（「管内の平均正答率－全国（公立）の平均正答率」で算出）

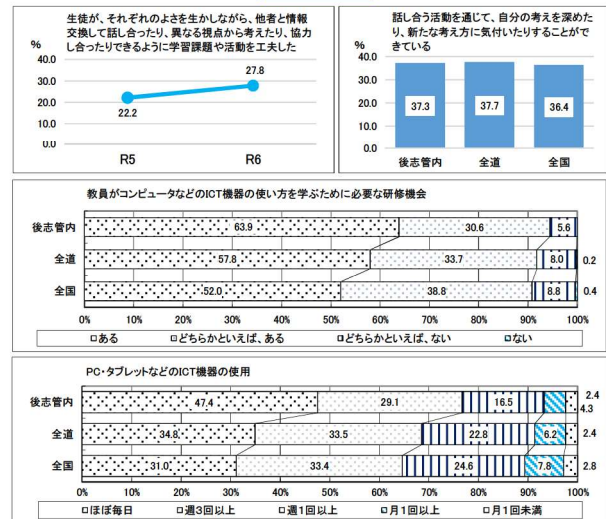


【質問調査の状況】

小学校



中学校



〔上記結果の考えられる要因の分析〕

小学校

多くの学校で、国語の授業において、違う点や似ている点を整理したり、図で示したりしながら、情報を整理する活動を行ったことにより、授業改善が図られ、国語の「書くこと」「読むこと」の領域、「情報の扱い方に  
関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

多くの学校で、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えたことにより、算数の勉強は好きと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

多くの学校で、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫したことにより、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

多くの学校で、教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修を行ったことにより、授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用していると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

## 【後志管内の学力向上策】

### 1. 管内教育の重点（学力）

- 好循環を創出する検証改善サイクルの充実
- 子どもを主語にした授業の推進

### 2. 具体的な改善策

- 好循環を創出する検証改善サイクルの充実（体制の強化）
  - 〈委員会と一体となった学校への支援〉
    - ・8～9月に学力向上に意欲をもっている学校を教育委員会と局長又は次長が訪問し、教育課程改善の視点と学力向上に向けた体制づくりについての説明を聞き指導助言を行う。（実施済み）
  - 〈教育課程編成の力量の向上に向けた支援〉
    - ・義務教育指導監による2回目の経営訪問において、全ての学校に調査結果を活用した教育課程の改善について指導助言を行う。
  - 〈異動校長、採用校長、昇任教頭への支援〉
    - ・全ての管理職が年度当初から教育課程に基づいた学校経営ができるよう、集合研修と局長・次長・義務教育指導監との個別の学校経営懇談を実施する。
- 子どもを主語にした授業の推進（後志ブランドの確立）
  - 〈委員会と一体となった学習習慣の改善〉
    - ・教育支援課長と指導主事による教育委員会・学校に対する学力調査結果分析や授業改善等に関わる協議を行う。
  - 〈教育課程編成の力量の向上に向けた支援〉
    - ・各学校が自走できるよう、「管内の各種教育活動の推進校一覧」を作成し、義務教育指導監から校長に視察校を提案するなど、学力向上に成果を上げている学校から学ぶことができる体制を構築する。
  - 〈授業改善を進める集団づくりに向けた支援〉
    - ・数学・英語の中核教員による、学力向上に苦慮している学校や教員を支援し、授業改善を進めるネットワークの構築と具体的な取組を推進する。

### 3. 具体的な取組計画

| 月  | ①・・・好循環を創出する検証改善サイクルの充実                                                                                                                                          | ②・・・子どもを主語にした授業の推進                                                                                  |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3  | ■EBE協議会④（局独自 義務）<br>管内全ての校長が参加（3月1日実施）                                                                                                                           | ■学力向上オンライン研修（局独自）<br>管内全ての教頭が参加                                                                     |
| 4  |                                                                                                                                                                  | ■ShiriBeshi Learning Box<br>（局独自）教員が主体的に参加                                                          |
| 5  | <b>授業改善期</b><br>・局長・次長・指導監による教頭への支援<br>→局 長：登録済の教頭が在籍する学校を訪問し懇談<br>・次 長：学力向上など活躍を期待する学校を訪問し懇談<br>・指導監：昇任教頭が在籍する学校を訪問し懇談<br>・教頭を対象とした学力向上オンライン研修の実施：<br>局長、次長、指導監 | ・授業改善を進める集団づくり<br>→・1～4月：学び直しに向けたICTの活用<br>・5～7月：調査問題を活用した授業改善 等                                    |
| 6  |                                                                                                                                                                  | ■EBE協議会①<br>中核校：小樽<br>潮陵<br>校長対象                                                                    |
| 7  |                                                                                                                                                                  | ・指導主事による授業づくりサポート 通年<br>→・スクールコンサルティング（訪問、Web面談）<br>・各学校の課題に応じた校内研修への支援<br>・初任層の多い学校等への複数回訪問など重点的支援 |
| 8  |                                                                                                                                                                  |                                                                                                     |
| 9  | ・委員会と共に学力向上に意欲のある学校を支援<br>→教育課程の改善に重点を置いた学校への訪問                                                                                                                  | 小中高校校長<br>会長、局による<br>連携会議                                                                           |
| 10 | <b>教育課程改善期</b><br>・指導監による全学校への支援<br>→調査結果に基づく教育課程の改善状況を教育課程の内容とICTを活用した授業改善等も含む他校への視察の2つの視点から支援する経営訪問                                                            | ・支援課長と指導主事による教育委員会・学校への支援<br>→分析結果を授業改善につなげる教育委員会訪問                                                 |
| 11 |                                                                                                                                                                  | ■EBE協議会②<br>ミドル対象                                                                                   |
| 12 |                                                                                                                                                                  | ・指導主事による全学校への支援<br>→調査結果に基づく指導計画の改善とICTを活用した授業改善の視点から支援する学校訪問                                       |
| 1  |                                                                                                                                                                  | ・管内全体の授業改善を進める教職員集団づくり<br>→英語・数学などで成果を上げている中核教員による授業公開と授業改善に向けた他校への提案                               |
| 2  | ・局長・次長・指導監による異動校長、採用校長、昇任教頭への支援                                                                                                                                  | ■EBE協議会③<br>本庁実施                                                                                    |
| 3  |                                                                                                                                                                  | ■EBE協議会④<br>局独自に校長を対象に実施                                                                            |